

# ラグビーワールドカップ2011ニュージーランド大会 報告

## 財団法人日本ラグビーフットボール協会

### ◆ラグビーワールドカップ 2011ニュージーランド大会 日本代表は、1分3敗で、リ グ戦敗退で大会終了。

9月9日にラグビー大国・ニュージーランド（以下「NZ」という。）にて4年に1度のラグビー世界大会「ラグビーワールドカップ2011」が開幕。ジョン・カーワンヘッドコーチ率いる、ラグビー日本代表は、この大会で念願の勝利、そして、予選プール「2勝」を目標に大会に挑みました。

9月10日の初戦のフランス代表戦。世界ランキング4位（試合時）のフランスに対し、日本代表は粘り強いディフェンスとテンポの良い攻撃で一時は、21-25と4点差まで追い上げ、世界の強豪を追い詰めることができ、ラグビーを知り尽くしている地元ファンをも驚かせていました。最終的には、実力の差が出てしまい、最終スコア21-47で初戦は敗退。しかし、

2003年のオー  
ストラリ  
ア大会で  
敗れたり  
ベンジは  
果たせな  
かったも  
の、当  
時よりも  
金星に近



(C)2011.JRFU(photo by H.Nagaoka)

開幕セレモニー

づいた手応えを感じることができた試合でした。

### ◆世界一・オールブラックス と16年ぶりの対戦

2戦目はNZ代表戦。世界ランキング1位で開催地でもあり、地元が誇る、NZの英雄である代表選手たちとの対戦。オールブラックス（NZ代表の愛称）と戦うのは、1995年の南アフリカ大会で、17-145と記録的大敗してから16年ぶりの試合となりました。145点を取られてから、どのくらい日本代表が成長しているか、どこまで戦えるかが、焦点となった試合でしたが、残りのトンガ、カナダ代表戦での勝利を目指す日本代表は、フランス戦のメンバーから大幅変更し、世界一のチー



(C)2011.JRFU(photo by H.Nagaoka)

世界一のチームに果敢に攻める

ムに挑みました。試合前に、NZ・クライストチャーチで起こった震災と、東日本を襲った震災の被災者への黙とうが、NZのキー首相と日本ラグビーフットボール協会・森喜朗会長（元首相）の両者も参加し行われた後、キックオフ。世界一と言われている強力かつ巧みなアタックで、世界一のレベルを見せつけられ、次々とトライを許してしまい、最終的には、7-83と点数でも差をつけられた試合でした。しかし、随所に日本代表選手が見せた、低いタックルや速い攻撃、セットプレーの部分など、通用する部分が見え、自信にも繋がります。また、16年前の大敗より成長を見せることができた試合でした。

### ◆目標は達成できず。4年 後のイングランド大会、 そして、2019年日本 開催に向け、再スタート。

3戦目のトンガ代表戦では、ミスを連発し、「日本らしさ」を出せずにトンガ代表に18-31と敗退。目標の「2勝」は達成できず、最終戦は、前回の2007年大会で引き分けに終わったカナダ代表との対戦。今までのワールドカップで1勝しかしていない日本代表は、20年ぶりの勝利を目指し、戦いましたが、4年前と同じ、引き分けで最終戦を終了し、予選プール敗退で本大会を終了しました。NZ大会では不本意な結果となり



(C)2011.JRFU(photo by H.Nagaoka)

オールブラックスのハカを目の前に

ましたが、8年後の2019年には、このワールドカップを日本で開催することが決定しています。2019年大会を成功裏に収めるためにも、日本代表の強化は最大課題となります。2011年大会で勝利できなかったことを再度見直し、4年後の2015年イングランド大会では、予選プールを突破し、決勝トーナメント進出できるような代表チームを作り、そして日本の皆さんに「ラグビー競技」を認知していただき、2019年にはNZ大会のような国中を巻き込み、盛り上がる大会にし、ラグビーの普及、発展に繋げていかなくはなりません。

まずは、日本国内のジャパングラグビーリーグなどのリーグでレベルアップを図り、本大会の反省を生かし再スタートを切りしたいと思います。